



# あきつ



## 「秋津のホタル、とてもきれいでした」

5月中旬頃、秋津校区の自治協議会に参加し、その時に地域の方々から「校長先生、ホタル見られましたか？」と声を掛けられました。「ホタルですか？ どこにいるんですか？」と問い返すと「ダイレックスの裏の『蛭川』です。今、70匹ぐらい飛んでるかなあ。午後7時40分くらいからが一番多いですよ。」と教えていただきました。

こんな街中で、ホタル?!ととても不思議な感じがしました。思い出してみると、私がホタルを見たのはもう15、6年前です。菊池方面にホタルを見るために家族で出掛けて行ったのを覚えています。ホタルが見られる場所と言えば、『静かで清らかな水辺で、豊富なエサがあるところで、街灯が少なく…』という自然いっぱいの情景が浮かびます。私は、半信半疑で教えてもらったところに出掛けました。途中、秋津小の子どもたちと出会いました。

「あ！ 校長先生だ！」(子どもたち) 「あら、こんばんは。習い事の帰り？」(私)  
 「はい。スイミングが終わって、帰るところです。」(子どもたち) 子どもたちの傍には、保護者の方々もいらっしやいます。子どもたちも、なんでここに？という表情だったので、「ホタルを見に来たんだよ。いっぱい出てるよって、教えてもらったので。」(私)  
 私が、川に向かおうとすると、子どもたちも「あ、私も見よう!!」と追いかけて、場所を教えてくださいました。まだ、周りはそう暗くはなく、まだ人の顔が分かる時間帯です。しばらくすると、毎日観察をされている方が来られて、記録を始められました。大人も子どもたちも数名集まって、ジーっと見ています。するとものの10分もしないうちに黄色い光がぼわ~っと光始めました。「あ、光った!!」「あっちも!!」etc… それから、どんどん小さな光が増えていきました。

すると、近くで会話が聞こえました。  
 「私の子が、もう30になるんですけどね。ホタルはまだいるかなあ…?って。気になるみたいだから今日、見に来ました。」

「秋津小の5年生が毎年、この川をきれいにしてくれているんですよ。だから、まだ見れますよ。」  
 「はい、昔、うちの子たちも掃除をしたみたいで…。気になるんでしょうね。」  
 もう顔が見えないくらいの暗さでしたが、あるお母さんと観察員の方の会話を聞いて、そのお子さんの様子が想像でき、心が温かく、明るくなりました。

街中で見られるのはとても珍しいですが、そこには、これまでの秋津小学校の子どもたちと地域の方々の方が大きくかかわっているんだなあと長年の努力や苦労を感じずにはいられませんでした。また来年も、たくさんのホタルをここに見に来ようと思います。



光を飛ばしながら、飛び交うホタル(写ってるかなあ…)

## 子どもたちの「考える・つながる・挑戦する」瞬間



「みんなで、掃除を頑張る!!」  
(2年生)



「自分のアイデアを活かして作る!!」  
(4年生)



「卵料理に挑戦!!」  
(6年生)